

# 竜たつの子新聞

特別号

市政報告

発行 **あらき竜二**

倉敷市日吉町 476-4

TEL: 086-422-7747

FAX: 086-441-5377

✉ :info@ryu2.biz

http://www.ryu2.biz/

# 謹賀新年

## 辰

明けまして

おめでとう

ございます



二〇二四年の年頭に  
当たり、謹んで新年の  
ご挨拶を申し上げます

昨年は人のあたたかさを実感した一年となりました。新型コロナウイルスは私たちに大きな爪痕を残しましたが、それでも何とか、今日という日を迎えることが出来ました。コロナに翻弄され、それでもその場で最善は何かを考え続けたこと、大変な日々でしたが、この経験忘れてはならないと思います。次の世代に伝えていかなければならない。

辰年の今年は勝負の年にしたいと考えています。まずコロナ禍の中、停滞していた地域の経済活性化や文化行事の復活など、前向きに取り組みます。特に感染拡大を受け、休校の延長を繰り返した学校の現場や子ども

もたちへのフォローを行いたい。また、私の政治理念の柱の一つでもある「移植医療」について、その普及活動を積極的にやりたいと考えています。

## 臓器移植がもたらすもの

はて、「臓器移植」とは何ぞや？

何か怖いなあ。よく聞かれます。

確かに怖い感じがしますよね。

でも「臓器移植医療」を知っていた

だけたら、もう少し親しく思っていた

だけなのではないでしょうか。

日本で臓器移植法が施行されて26年

経ちます。ですが、海外と比べて、

現在でも臓器提供がきわめて少ない

のです。例えば、アメリカでは年間

1万4千人が臓器提供を行っています

ですが、日本では年間百人前後で推移

しています。提供者の割合を調べる

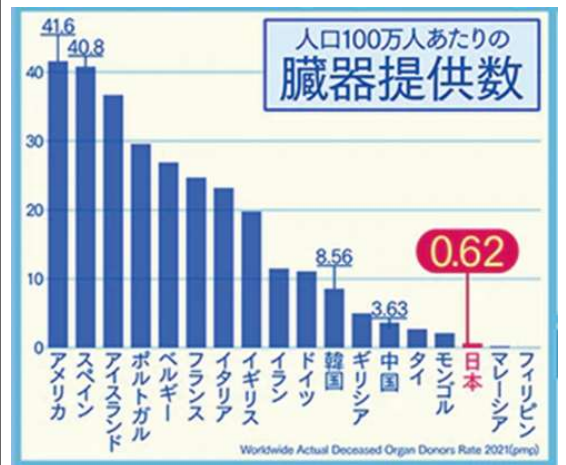
とアメリカは百万人あたり41.6例

日本では0.62例です。これは手

術云々ではなく、単に普及の問題だと

考えています。

人口100万人あたりの臓器提供数



## 臓器移植 家族のこと

私自身、移植医療のすごさ、ありがたさを実感しています。

実は私の妻も「臓器移植医療」を受

けました。臓器を提供する方法は、

「生体移植(健康な人からの提供)」と

「脳死後、心肺停止後の臓器提供」

があります。妻は生体移植で実姉

より臓器の提供を受け、移植手術を

うけました。妻は中学校の尿検査で

腎炎が見つかり治療して落ち着いて

いましたが、息子が5歳頃から入退

院を繰り返すようになりました。弱

った身体に追い打ちをかけるように

ステロイド治療、急性膵炎、子宮内

膜炎など立て続けて発症。息子の幼

